

第1回ブロック会議が各地で開催される!

2022春季生活闘争に向け、東日本ブロックと西日本ブロックの合同ブロック会議、中日本ブロック会議が開催されました。今号では各ブロックからの報告を掲載します。

印刷労連の2022春季生活闘争は「**日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう!**」をスローガンに、日本経済と企業の成長を確実なものとするための印刷労連の果たすべき役割の考えを継続し、「賃上げ」「一時金」「労働諸条件改善」の3本柱に加えて「労働環境の整備」を求めた総合的労働条件改善へ取り組むとしております。



東日本・西日本 合同ブロック会議

～今まで以上に情報や課題を共有し、一歩ずつ前進していこう～

去る2月5日(土)、昨年に続き、東日本・西日本合同でのブロック会議を開催、16組織がオンラインにて出席しました。前段では、大卒労働条件委員長より「2022春闘要求方針」のポイントについて、「印刷労連 賃金政策」改訂版を中心に説明いただきました。

会議では、現在の社会経済情勢や法改正などを背景に、厳しい環境下でのあるべき労働条件、また60歳以降の働き方や定年延長などについて活発な議論が交わされました。VUCA時代と呼ばれる今、今ブロック会議が、今まで以上にお互いに情報や課題を共有しながら、一歩ずつ前進していくきっかけになることを期待しております。



【出席者 集合写真】



【報告者 関東南部地方協議会 川尻議長】

中日本ブロック会議

～常識にとらわれず、組合員のためになる活動に邁進しよう！～

1月29日(土)に第1回中日本ブロック会議を43名の参加者のもと開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として各地協の拠点又は自宅などから参加するリモートによる単日開催となりました。当日は本部より穴戸中央執行委員長、大窄中央書記長にリモートで参加いただき、大窄中央書記長より「印刷労連2022春季生活闘争方針」「印刷産業・賃金政策」について分かり易くご説明をいただきました。



【出席者 集合写真】



【報告者 大阪地方協議会 石山議長】



【開会挨拶 京滋地方協議会 川端議長】



【本部挨拶 穴戸中央執行委員長】



【春闘方針説明 大窄中央書記長】



【大阪地方協議会会場(エルおおさか)】



【石川地方協議会会場(金沢勤労者プラザ)】

中日本ブロック基調講演

～必要な収支をシミュレーションし、考える癖づけが重要～

今回の基調講演は、ライフプランセミナー「可処分所得向上のための保険の見直し」という題目で、(株)FPコンサルティングの塩見様より講演をいただきました。

ライフプランを設計する際に、生命保険の内容を見直しは即効性があり、家族構成や毎月の生活費・貯蓄額に応じて必要な収支をシミュレーションし、公的制度や会社からの補償も勘案した上で、必要な分だけ加入することや、「自分の場合はどうだろう」と考える癖づけが重要だと教えていただきました。その他に、非課税運用が出来る口座として、資産を賢く運用するという一方で、NISA や個人型確定拠出年金(iDeCo)の説明もいただき、ライフプランを形成する上で、お金を眠らせておくよりも、税制優遇を受けながら投資をしていく方法もあるということも説明いただきました。



【FPコンサルティング 塩見様】

連合2022春季生活闘争 3.7政策・制度 要求実現 中央集会

3月7日(月)18:30より、連合「2022 春季生活闘争政策・制度 要求実現 3.7 中央集会」がYouTubeLive配信により開催されました。

はじめに主催者代表として、中央闘争委員長である連合・芳野友子会長から挨拶がありました。冒頭、ウクライナ情勢に触れられ、「ロシアの大統領はウクライナに対し核兵器をちらつかせている。これは世界唯一の被爆国である労働組合ナショナルセンターとして、連合はこの動きを到底容認できない。私たちはロシアに対し作戦の即時の中止、撤退を強く求め、地域の平和と安定の早期回復に向け労働組合連合 ITUC やウクライナの労働組合との連携を強化していく」としました。さらにコロナ禍における闘争が3年目を迎えた中、多くの組合で要求書を提出し、回答引き出しのヤマ場に向け鋭意交渉に敬意を表



【がんばろう三唱】

しました。また「未来をつくる。みんなで作る。」をスローガンに、「人への投資」を起点とした経済の

好循環を起動させる必要性を訴えました。引き続き、共闘連絡会議代表による決意表明が行われ、「金属」「化学・食品・製造等」「流通・サービス・金融」「インフラ・公益」「交通・運輸」のそれぞれの代表より決意を述べられ、現在の闘争状況およびヤマ場に向けた決意を発言されました。さらに、政策委員会委員長より決意表明を行い、全体で確認されました。

最後に、今集会のアピールが提起され、中央闘争事務局局長である連合・清水事務局局長のがんばろう三唱で閉会しました。

2022 春季生活闘争は、3月15日からヤマ場を迎えます。先行組合の回答引き出しが行われる中、印刷労連も追従するように各構成組織が要求・回答を行い、鋭意交渉・回答引き出しに奮闘されるかと思えます。組合員の労働と生活を充実させ、より良い職場環境と生活水準向上を獲得できるよう、ともにがんばりましょう。

【報告者 中央書記長 大塚 新二】



【連合・芳野会長】

連合2022春季生活闘争3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会

2022年3月8日(火)18:15より、連合2022 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動中央集会がWeb配信にて開催されました。『職場からchange, challenge, Movement! 「ジェンダー主流化」で社会を変えていこう』をテーマに1,161名が参加、印刷労連からは女性組合役員を中心に13名が参加しました。

連合・芳野友子会長のご挨拶では、男女平等を前進させなければならない、また女性が意思決定の場に参画できる社会を目指すべきであり、世界の潮流「203050」(2030年までに女性参画50%)を実現させていくべきである。と心強いメッセージをいただきました。

基調提起では、連合・井上久美枝総合政策推進局長より「連合2022 春季生活闘争におけるジェンダー平等・多様性課題の取り組み」について説明があり、続いて、

立憲民主党・岡本あき子ジェンダー平等推進本部長代行、国民民主党・矢田わか子男女共同参画推進本部長、連合・清水秀行事務局局長によるパネルディスカッションがありました。「女性と政治」をテーマに、女性の健康や年金問題などあらゆる課題があり、解決のためにも女性の声が必要であることなど、政治における女性参画の重要性についてお話がありました。最後に集会アピール採択、連合東京・斉藤千秋事務局局長の閉会挨拶で集会を終了しました。

集会終了後は、印刷労連の参加者でのWeb意見交換を行い、今集会に参加しての意見や感想などを共有しました。女性がもっと組合活動に参画し、職場の女性の声を上げることが重要であることを改めて認識しました。

【報告者 副中央書記長 古賀 初代】



【印刷労連からの参加者・集会後の意見交換】



【連合・芳野会長】



【パネルディスカッションの様子】

第23回 UNI-LCJapan 年次総会・記念講演

2月15日(火)、第23回 UNI-LCJ 年次総会がオンライン併用で開催されました。運営委員である宍戸中央執行委員長と総会代議員として古賀副中央書記長が会場にて出席し、オブザーバーとして、三役5名がWebにて出席しました。コロナ禍での2021年度活動報告、会計報告等の承認、および2022年度活動計画及び予算が承認されました。また、役員改選では、新たに石川第9代 UNI-LCJ 議長(JP 労組)が選出され、佐久川 UNI-LCJ 監査委員(日放労)、上田智亮 UNI-LCJ 事務局長(UAゼンセン)、森川容子 UNI-LCJ 事務局次長(UNI Apro)が新たに選出されました。

その後、記念講演が開催され、主催者代表の石川議長の挨拶では「コロナ禍の影響で、労働組合の力が今まで以上に必要とされている。私たちは働く仲間を護るため、決して立ち止まることなく団結して課題解決に取り組んでいく」という決意を語られました。

来賓として、厚労省・達谷窟総括審議官、連合・芳野会長からは連帯の挨拶をしていただきました。

その後の講演では、「ニューノーマル時代の労働

運動：ビジネスと人権、リモートワークとつながらない権利、デジタル化の影響、労働安全衛生、民主主義の危機への対応等」と題し、オンラインにてスイスからクリスティ・ホフマン UNI 書記長、ネパールからラジェンドラ・アチャリヤ UNI Apro 地域書記長から、ポストコロナを見据えたこれからの労働運動とデジタル化等の技術革新によって今後起こりうる課題へ対応していくこと、また、アジアにおけるミャンマー、香港、フィリピンで、未だ続く民主主義が危機に瀕していることにも触れられ、まだ存続し機能している組織に対して、私たちは支援を続けていくと強調されました。

最後に松浦 UNI-LCJ 副議長から閉会の挨拶があり、「お二人の講演は大きなインスピレーションを UNI-LCJ メンバーに与えていただいた。このような状況下でも、UNI、UNI Apro は着実に運動を進めており、UNI-LCJ は石川新議長のもと、しっかりと連携を取りながら、今後も様々な活動に最大限貢献を図っていく」と力強く締めくくりました。

【報告者 副中央執行委員長 勝又紀智】



【会場の様子】



【UNI クリスティ・ホフマン書記長】



【UNI Apro ラジェンドラ・アチャリヤ地域書記長】

働くを支える 暮らしに備える 生活を豊かに ☆印刷労連 ☆こくみん共済coop ☆労働金庫

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
経済医療共済	貯いぬい共済
マイカー共済	白船共済
交通災害共済	離職給付共済

こくみん共済 全労済

ROKIN 3rokin

あなたの身近に潜む

マネートラブル

解決しよう

特設サイトで動画をチェック!
https://all.rokin.or.jp/money_literacy/

— 編集後記 —

北京 2022 冬季オリンピックが閉会し、パラリンピックが開催されております。日本人選手が出場メダルを取る競技に力が入ります。最近は大画面のテレビが普及していることもあり、選手の表情や現場の臨場感が伝わってきます。コロナ禍の大変な時に、大会を開催し、スポーツを通して感動を与えてくれたことに感謝したいと思います。

一方で、ロシアのウクライナ軍事侵攻は超大国が隣国に武力をもって領土を掌握しようとしております。こんなことが21世紀の時代にあってよいものかと強い憤りを感じます。

今、私が声を上げて言いたいことの全ては右のパネルです。⇒

【教育・広報委員会 勝又紀智】

RUSSIA - UKRAINE
NO WAR
戦争反対
NO NUCLEAR WEAPONS
核兵器を使わない

RUSSIA - UKRAINE
PROTECT THE PEOPLE
人々を守れ
PEACE AND DIALOGUE
平和と対話を